

3836 東証プライム市場

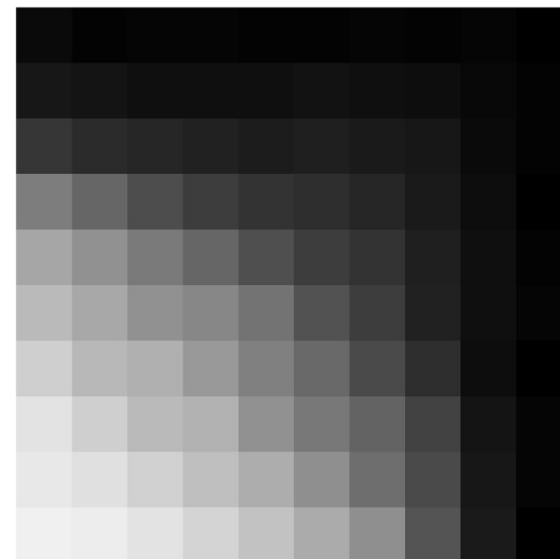
株式会社アバントグループ

2025年6月期 第3四半期 決算説明資料

2025年4月30日

AVANT GROUP

AVANT GROUP CORPORATION
www.avantgroup.com



2025年6月期 第3四半期累計 決算ハイライト

売上高

20,938 百万円

(前年同期比 + **17.6%**)

連結決算開示事業、DX推進事業、経営管理ソリューション事業の3事業全てが売上成長を実現したことに加え、前年第1四半期に経営管理ソリューション事業において組織再編に伴い売上成長が抑制されていた反動もあり増収

営業利益

3,625 百万円

(前年同期比 + **17.9%**)

業容拡大に応じた人件費および及びIT費用、受注増対応の外注加工費、将来成長を実現するための投資性の費用増、DX推進事業における大型案件のキャンセルにより利益率が悪化等したもの、ソフトウェアビジネスの成長による利益率の向上及び増収効果、前年第1四半期に経営管理ソリューション事業の利益水準が低くとどまったことによる反動等もあり増益を維持

当期純利益

2,270 百万円

(前年同期比 + **15.0%**)

増収による利益増は維持するも、増益の幅はわずかにとどまる

2025年6月期業績予想

- 業績予想および期末配当予想の変更は無し
- 2025年6月期は、売上高28,800百万円（前年同期比+17.9%）、営業利益4,900百万円（同+19.5%）、当期純利益3,350百万円（同+17.5%）を予想
- 期末配当は、中期経営計画期間内の目標として掲げている純資産配当率8%の達成を志向して**1株あたり25円**を予想

INDEX

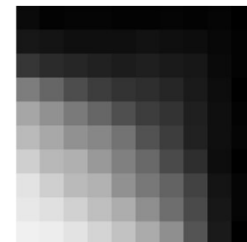
I. 2025年6月期 第3四半期累計の決算概要

II. 業績予想 および 配当予想

III. 「BE GLOBAL 2028」の進捗

* 資料内の数値は表示単位未満を切捨てて表示しております。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断によるものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われないようお願いいたします。



I. 2025年6月期 第3四半期累計の決算概要

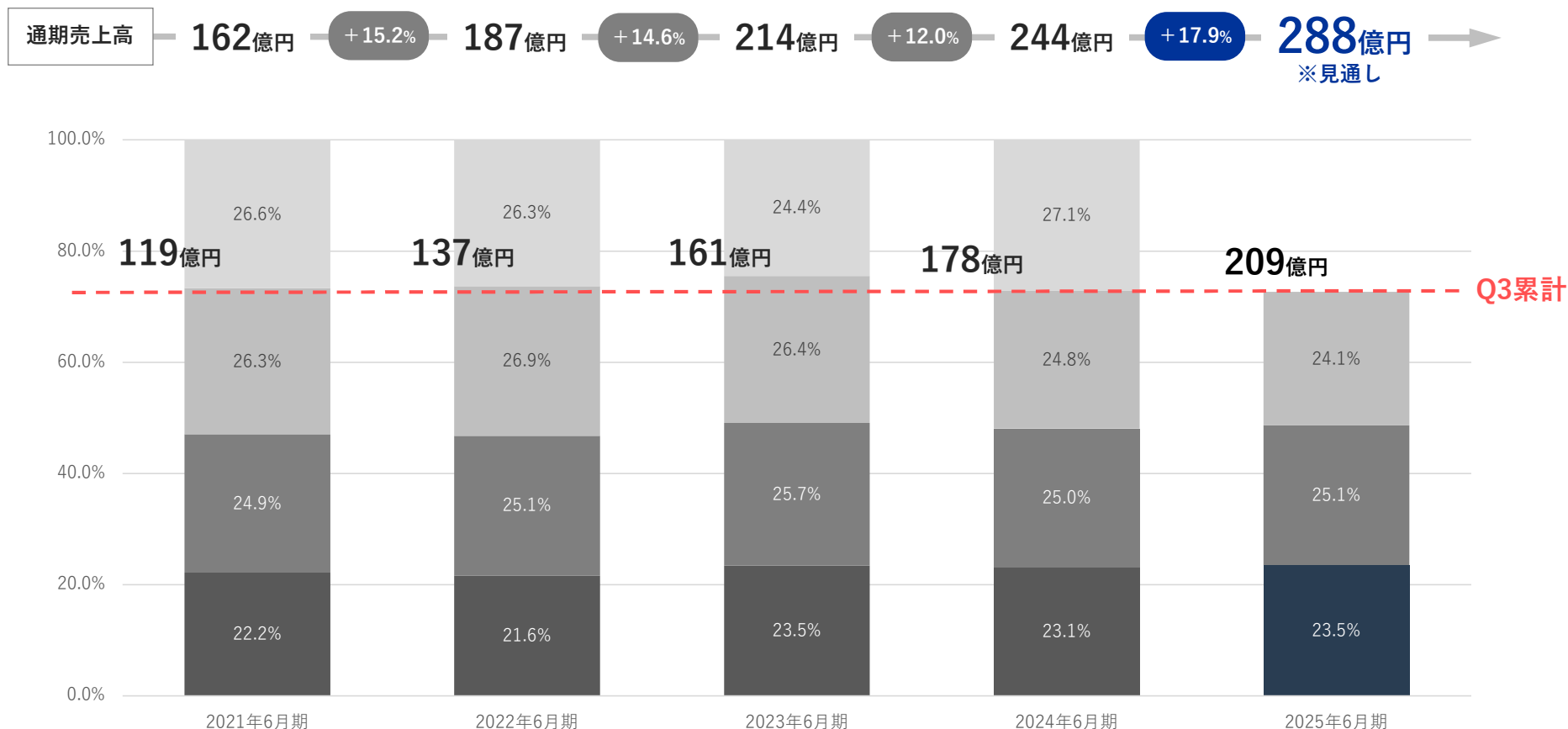
決算概要

- 売上高は、連結決算開示事業、DX推進事業、経営管理ソリューション事業の3事業全てが売上成長を実現したことに加え、前期1Qに経営管理ソリューション事業において組織再編に伴い売上成長が抑制されていた反動もあり、前年同期比17.6%増の20,938百万円
- 営業利益に関しては、業容拡大に応じた人件費及びIT費用、受注増に対応するための外注加工費、投資性の費用の増加、DX推進事業における一部の大型案件のキャンセルが発生したものの、ソフトウェアビジネスの成長による利益率の向上及び増収効果、前期1Qに経営管理ソリューション事業の利益水準が低くとどまったことによる反動等もあり、前年同期比17.9%増の3,625百万円

(百万円)	2025年6月期 第3四半期	前年同期比		2025年6月期 第3四半期累計	前年同期比	
		前年実績	増減率		前年実績	増減率
売上高	6,927	6,063	14.2%	20,938	17,806	17.6%
売上原価	3,938	3,407	15.6%	11,630	9,976	16.6%
売上総利益	2,988	2,656	12.5%	9,308	7,829	18.9%
売上総利益率	43.1%	43.8%	-0.7pt	44.5%	44.0%	0.5pt
販管費	1,900	1,471	29.2%	5,682	4,753	19.5%
営業利益	1,088	1,185	-8.2%	3,625	3,075	17.9%
営業利益率	15.7%	19.5%	-3.8pt	17.3%	17.3%	0.0pt
純利益	685	757	-9.4%	2,270	1,974	15.0%
純利益率	9.9%	12.5%	-2.6pt	10.8%	11.1%	-0.2pt
EBITDA	1,213	1,344	-9.7%	3,996	3,470	15.2%
EBITDAマージン	17.5%	22.2%	-4.7pt	19.1%	19.5%	-0.4pt

通期売上高見通しにおける進捗状況

- FY25 3Q累計売上高は通期売上高見通しの72.7%で進捗しており、過去4年間と同等の水準で推移



グループコスト構造

- 活発な採用活動により採用費および人件費は増加
- 日本企業の中長期的なトレンドとなりつつある「データ及びデジタル技術を活用した企業経営・企業活動の高度化」を通じた競争力維持・強化のための投資ニーズが引き続き堅調。この需要に対応すべく外注費は増加
- 人員増とクラウド化対応（顧客向け、社内環境）によりIT費用も増加

(百万円)	2025年6月期 第3四半期	前年同期比		2025年6月期 第3四半期累計	前年同期比	
		前年実績	増減率		前年実績	増減率
売上高	6,927	6,063	14.2%	20,938	17,806	17.6%
人件費	3,236	2,785	16.2%	9,708	8,515	14.0%
採用費	178	105	68.8%	467	338	38.2%
外注費	1,231	958	28.5%	3,628	2,965	22.4%
IT費用	395	321	23.0%	1,148	944	21.6%
事務所費用	248	199	24.9%	714	627	13.9%
その他	549	508	8.0%	1,647	1,341	22.8%
総費用	5,839	4,878	19.7%	17,312	14,730	17.5%
営業利益	1,088	1,185	-8.2%	3,625	3,075	17.9%
営業利益率	15.7%	19.5%	-3.8pt	17.3%	17.3%	0.0pt

事業セグメント別業績

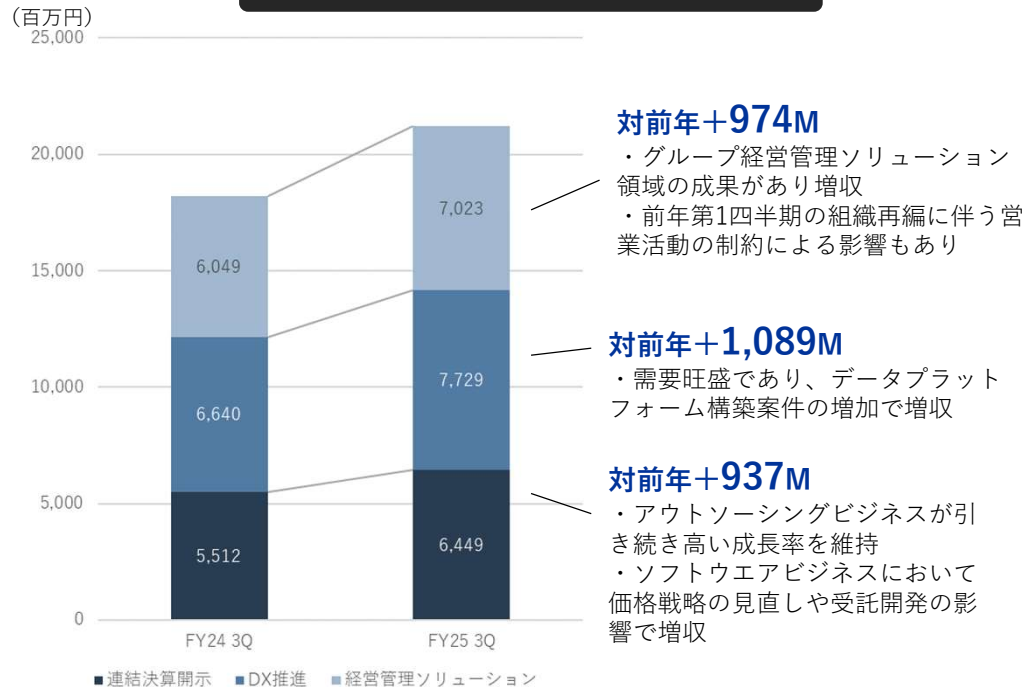
- 売上は当期1Qからの傾向が継続し、すべての事業セグメントで増収
- 利益については、前期1Qの利益水準が低くとどまった経営管理ソリューションの増加率が特に高い一方、DX推進事業において一部の大型案件のキャンセルが発生した影響により、単四半期では昨対で減、累計では微増

(百万円)		2025年6月期 第3四半期	前年同期比		2025年6月期 第3四半期累計	前年同期比	
			前年実績	増減率		前年実績	増減率
連結決算開示	売上高	2,203	1,905	15.6%	6,449	5,512	17.0%
	営業利益	621	579	7.1%	1,776	1,437	23.6%
	営業利益率	28.2%	30.4%	-2.2pt	27.5%	26.1%	1.5pt
	受注額	2,280	1,836	24.1%	6,686	5,398	23.9%
	受注残	4,918	3,835	28.2%	4,918	3,835	28.2%
DX推進	売上高	2,603	2,274	14.4%	7,729	6,640	16.4%
	営業利益	364	541	-32.6%	1,312	1,300	1.0%
	営業利益率	14.0%	23.8%	-9.8pt	17.0%	19.6%	-2.6pt
	受注額	2,382	2,360	0.9%	7,358	6,466	13.8%
	受注残	1,698	1,531	11.0%	1,698	1,531	11.0%
経営管理ソリューション	売上高	2,205	2,030	8.6%	7,023	6,049	16.1%
	営業利益	360	269	33.7%	1,291	845	52.7%
	営業利益率	16.3%	13.3%	3.1pt	18.4%	14.0%	4.4pt
	受注額	1,974	1,991	-0.9%	6,349	5,609	13.2%
	受注残	3,332	2,674	24.6%	3,332	2,674	24.6%

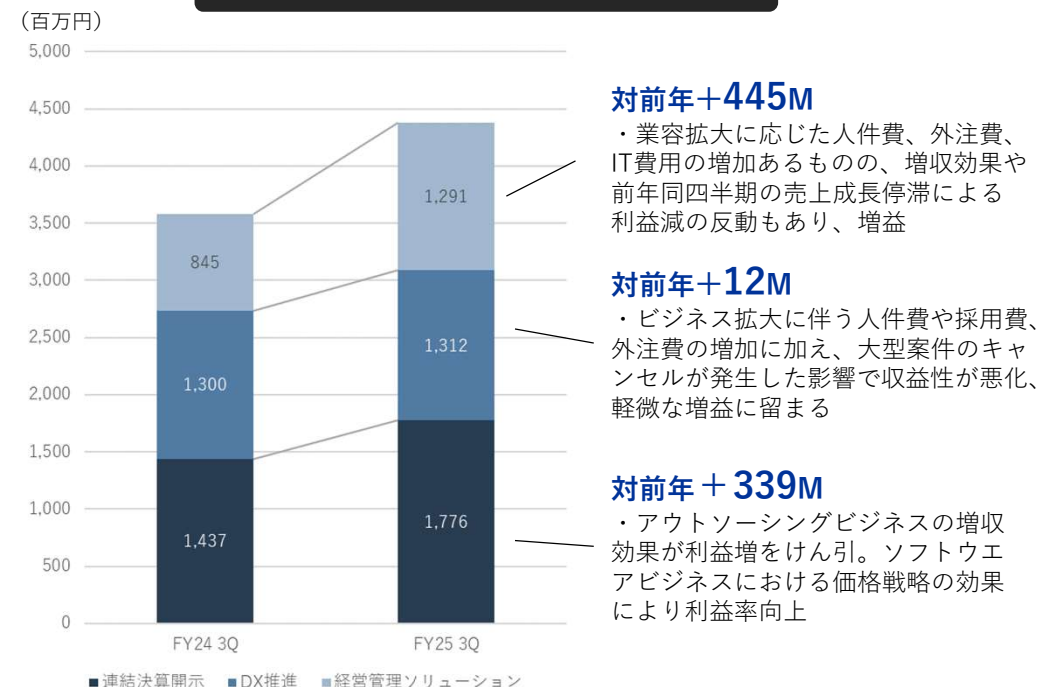
事業セグメント別業績（要因）

- 連結決算開示事業はアウトソーシング事業堅調で増収し、収益面でもアウトソーシング事業の成長がけん引
- DX推進事業は引き続き旺盛な需要で増収となるも、一部の大型案件のキャンセルが発生し収益性が悪化、営業利益は微増
- 経営管理ソリューション事業はグループ経営管理ソリューションの事業領域において成果が出始めていることに加え、前期1Qの事業再編に伴い営業活動に制約が生じ売上成長が抑制されていた影響もあり、増収増益

売上高の増減要因

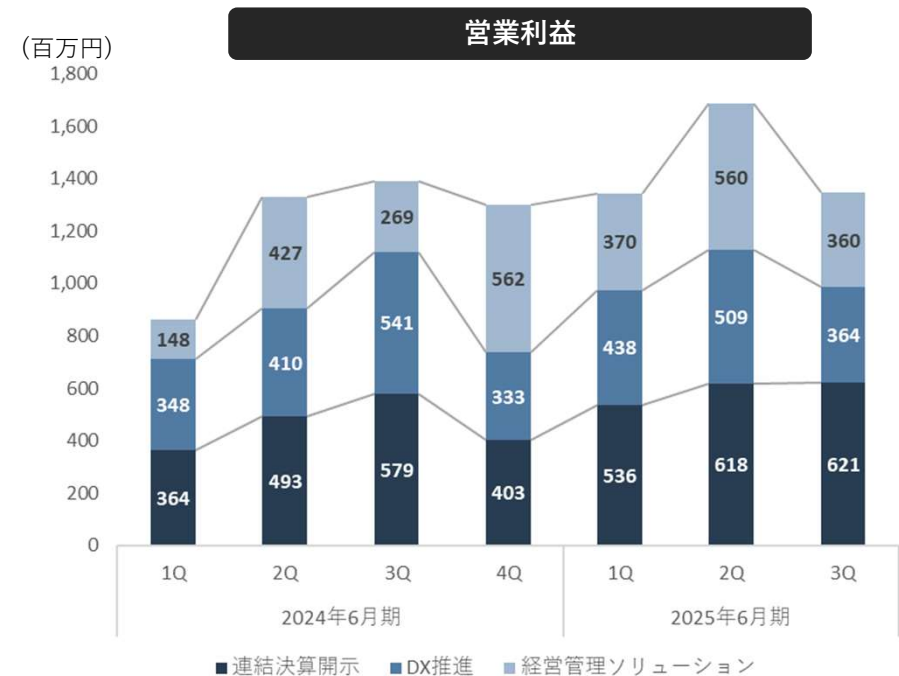
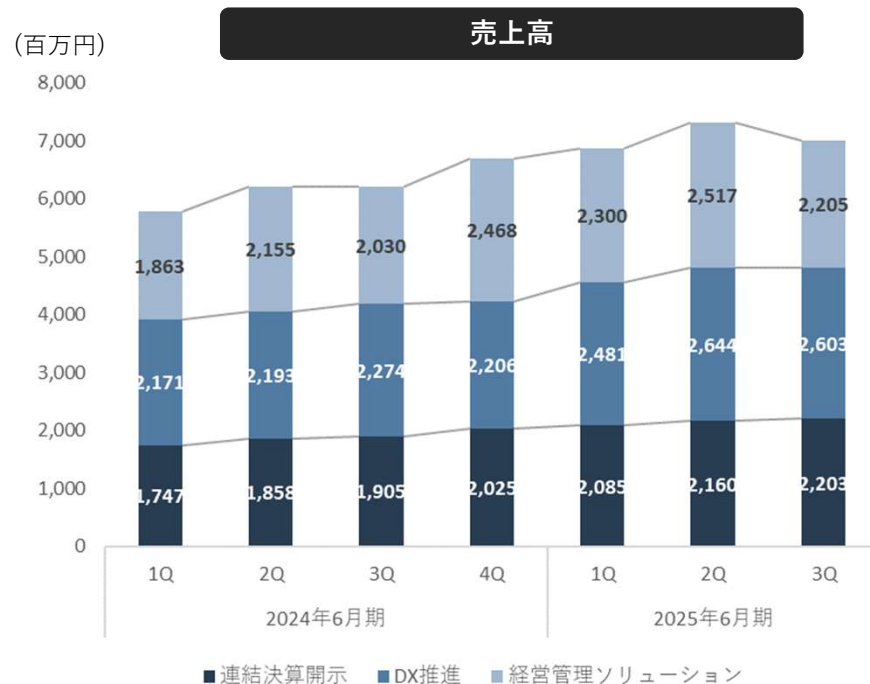


営業利益の増減要因



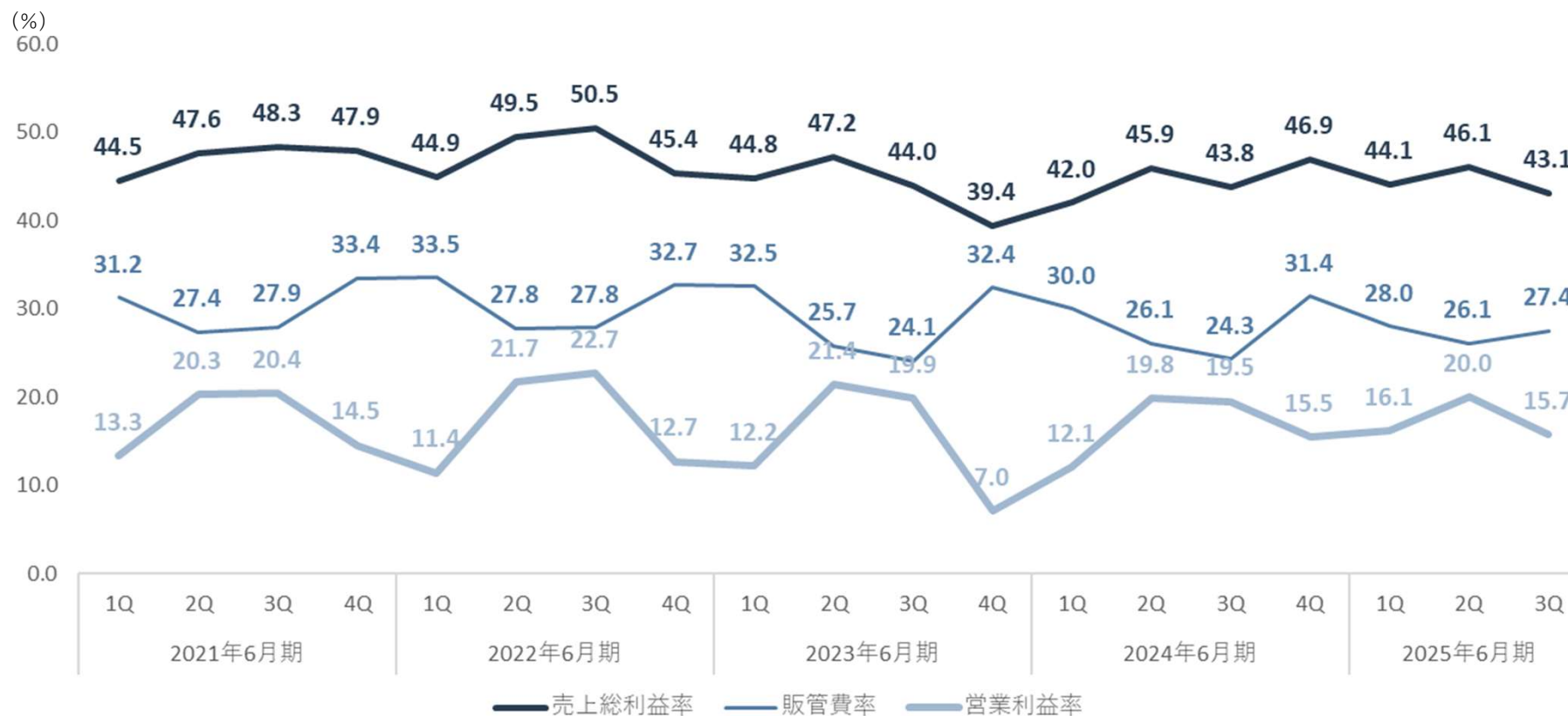
四半期推移 セグメント別売上高および営業利益

- DX推進事業における一部の大型案件のキャンセルがあり、一時的に利益が落ち込んだ
- 事業再編による一過性の影響が経営管理ソリューションの前期1Qに出ている



四半期推移 利益率

- DX推進事業の一部の大型案件のキャンセルの影響があり、当期3Q売上総利益が一時的に悪化。当粗利率の低下に加え採用費および人件費の増加による販管費率の上昇により、当期3Qの営業利益率は低下したものの15%以上を維持している。前期1Qは事業再編に伴い経営管理ソリューションに制約があり売上総利益率が低下していたものの、その後は売上総利益率、営業利益率ともに回復



2022年第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しています。

四半期推移 ストック売上高・ストック比率

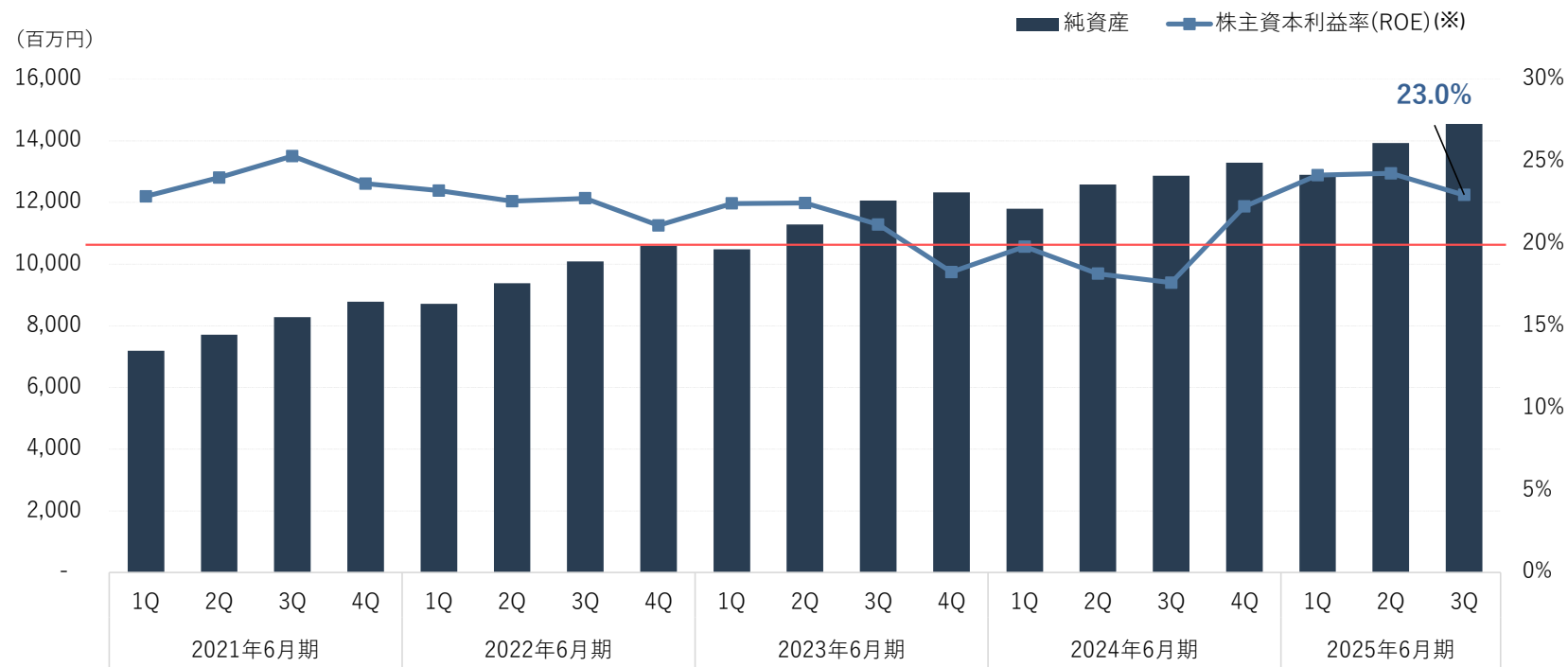
- ストック比率は大きく水準は変わらないものの、ストック売上高の絶対値は堅調に推移



2022年第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。

ROEの推移

- 純資産が当期1Qから積み上がる一方、収益性の悪化もあり、ROE*は当期1Q、2Qよりは低下するものの23.0%の高水準を維持
- 当社グループの経営原則を遵守し、収益性をさらに高め、かつ資産をより効率的に運用することを通じて、平均20%以上の維持を目指す



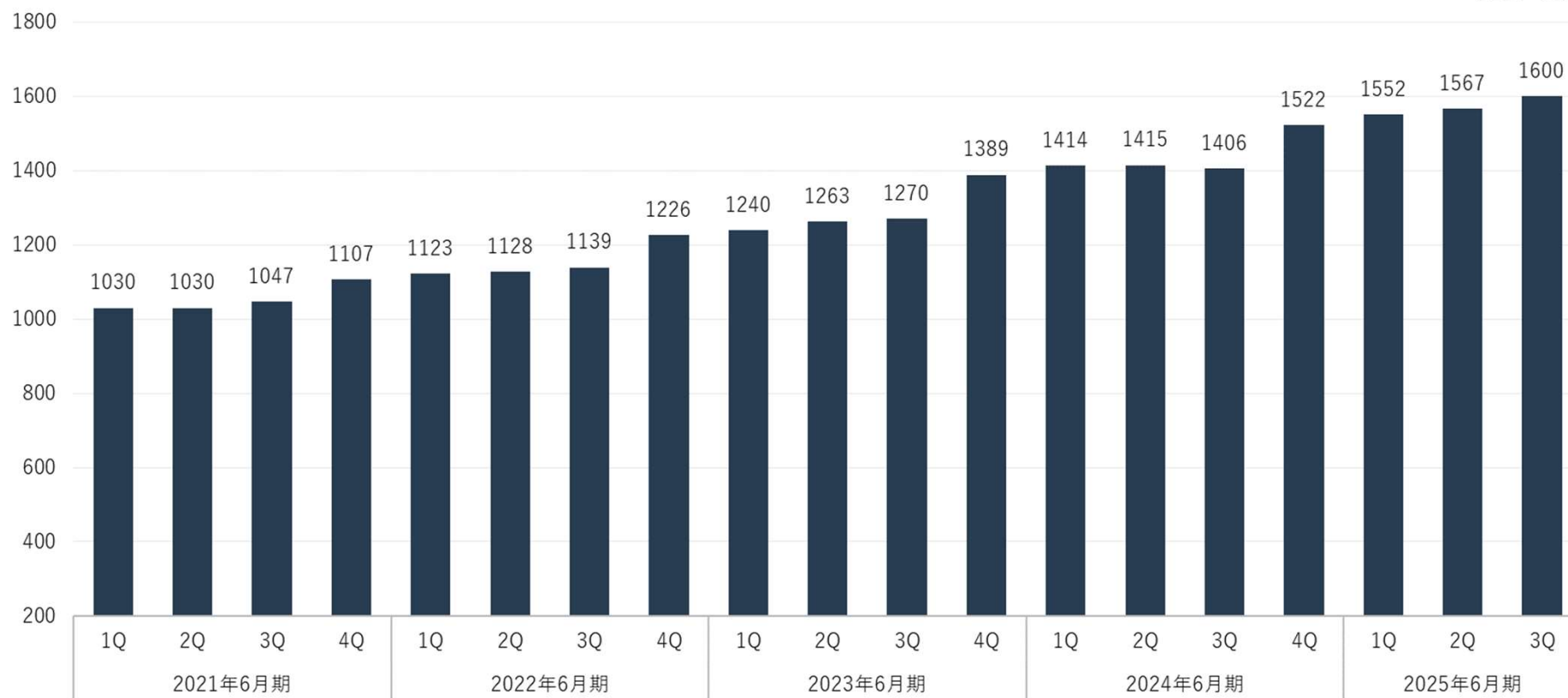
※過去4四半期分の数値を基に計算しています。

2022年第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。

グループ従業員数の推移

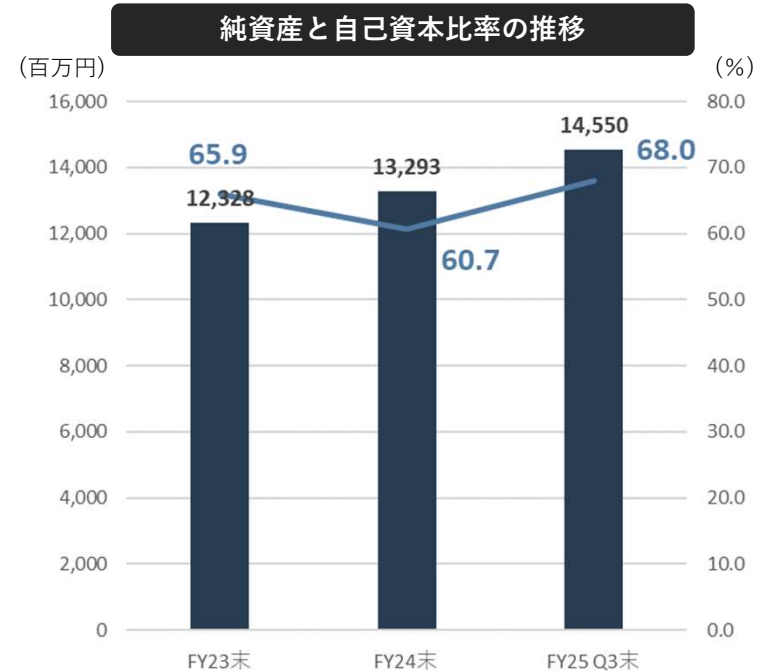
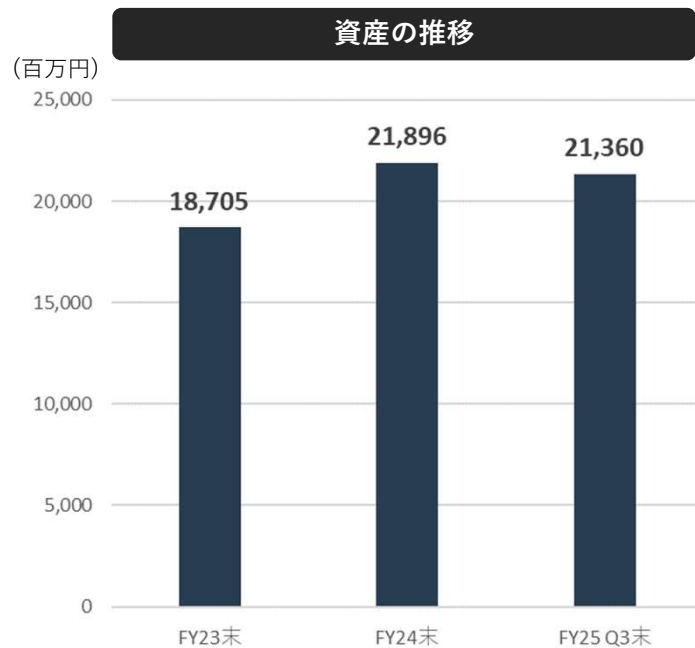
- 持続的な成長を実現するため人員数は増加傾向にあり、当期3Qはわずかながら増加

(単位：人)



財務状況の推移

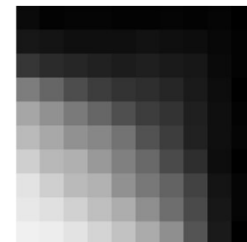
- 総資産は前期末比536百万円減の21,360百万円。これは、前期末収計上されていた法人税等の還付などによる流動資産の減少1,131百万円、及びソフトウェアの減少222百万円などによる
- 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,270百万円の計上、剰余金の配当708百万円の支払いにより、前期末比1,257百万円増の14,550百万円。自己資本比率は68.0%と高水準で推移



キャッシュフローの状況

- 営業キャッシュフローは、増加要因の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3,788百万円、法人税等の還付額339百万円、減価償却費371百万円であり、減少要因の主な内訳は、法人税等の支払額1,726百万円、賞与引当金の減少額593百万円、契約負債の減少額676百万円
- 財務キャッシュフローは、支出の主な内訳は、配当金の支払額708百万円、自己株式の取得701百万円、収入の主な内訳は自己株式の売却349百万円であり、対前年同期比で441百万円の使用減

	2025年6月期 第3四半期	前年同期比		2025年6月期 第3四半期累計	前年同期比	
		前年実績	増減額		前年実績	増減額
営業CF (百万円)	975	910	64	1,827	1,260	566
投資CF	△ 102	△ 365	262	△ 288	△ 605	316
フリーCF	872	545	327	1,538	655	883
財務CF	△ 4	△ 472	468	△ 1,056	△ 1,498	441



II.業績予想 および 配当予想

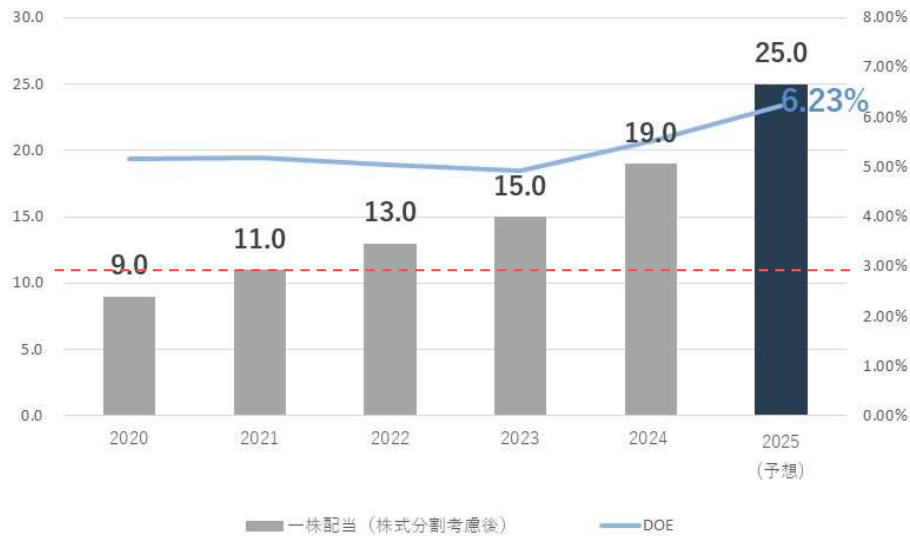
2025年6月期 通期業績予想

- 売上高は対前年比17.9%増の28,800百万円と増収を見込む
- 営業利益は、対前年比19.5%増の4,900百万円、
当期純利益は、対前年比17.5%増の3,350百万円と増益を見込む

	2024年6月期 (実績)	2025年6月期 (予想)	増減額	増減率
(百万円)				
売上高	24,418	28,800	4,381	17.9%
営業利益	4,099	4,900	800	19.5%
営業利益率	16.8%	17.0%	-	-
当期純利益	2,850	3,350	499	17.5%

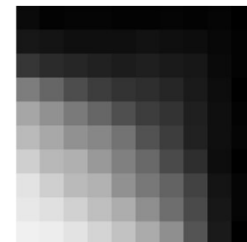
株主還元

- 2024年6月期のDOEは5.5%で、東証上場企業平均（12ヶ月）の3.2%を大幅に上回る水準を達成
- 2025年6月期の1株当たり配当は、安定的な配当を継続して行う方針に伴い、1株当たり25円の予想。DOEは6.23%となる水準



株主還元の考え方

- 配当は株主還元政策の重要事項の位置づけ
- 純資産配当率などの指標に注目することで、毎期の業績に大きく左右されることなく、配当金額を安定的に維持ないしは向上していくことを指向
- 純資産配当率は東証全上場企業の平均値を常に上回り、新中期経営計画の期間内に8%の達成を目指す



III. 「BE GLOBAL 2028」の進捗

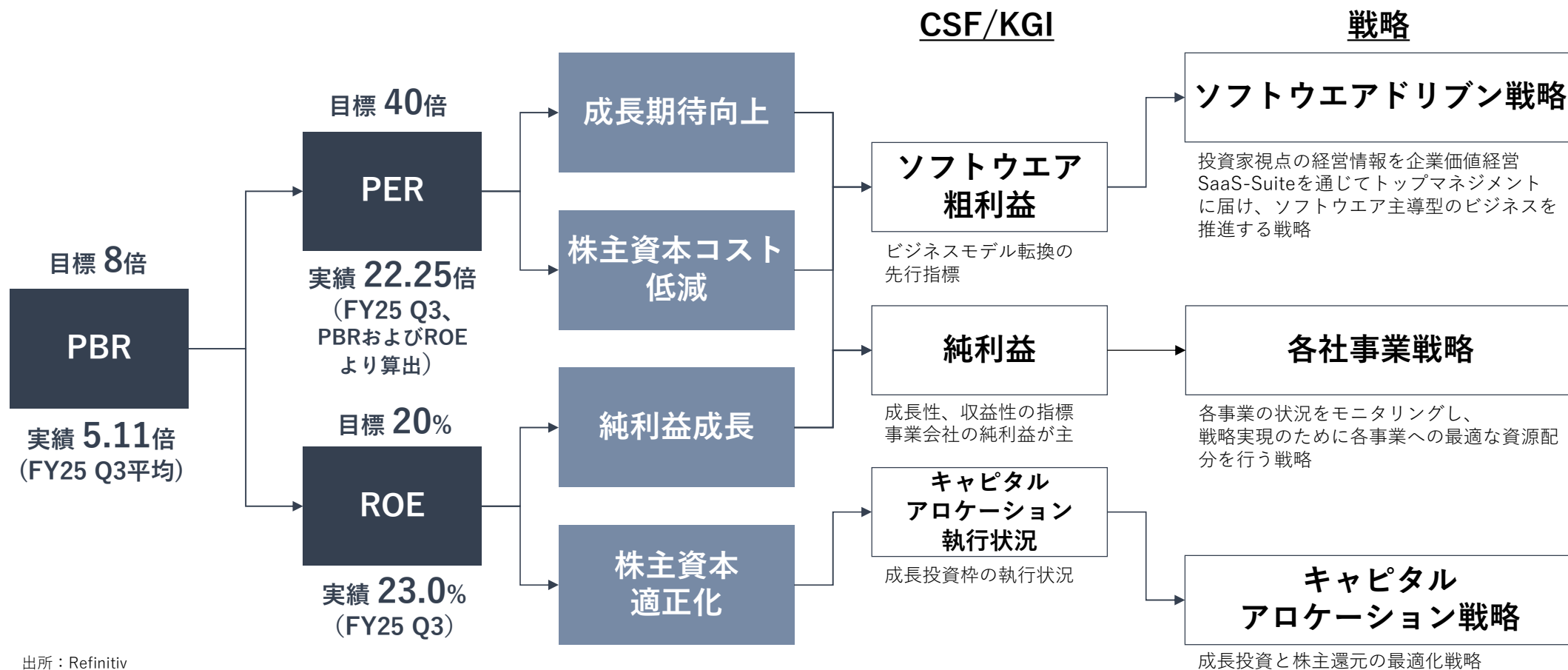
BE GLOBAL 2028（BG28） 2年目の計画

- BG28 2年目の計画はBG28 当初計画におけるFY25水準を上回るが、ソフトウェア粗利益はほぼ計画通りに留まる

	FY24 実績	FY25			FY28 計画
		計画	中計比	前年比	
売上高	24,419M	28,800M	+6.8%	+17.9%	40,000~ 45,000M
営業利益	4,099M	4,900M	+19.0%	+19.5%	9,000~ 11,000M
営業利益率	16.8%	17.0%	+1.8pts	+0.2pts	20~24%
純利益	2,850M	3,350M	+25.2%	+17.5%	6,000~ 7,000M
1人当たり営業利益	2.8M	3.0M	+21.8%	+5.6%	3.9M
ソフトウェア粗利益	2,442M	2,474M	+0.7%	+1.3%	5,500~ 6,000M
ROE	22.3%	22.4%	+4.0pts	+0.1pts	20%以上
DOE	5.5%	6.2%	▲0.3pts	+0.7pts	8.1%以上
配当	19円	25円	±0	+31.6%	51円以上

PBRツリーを用いた戦略実行モニタリング

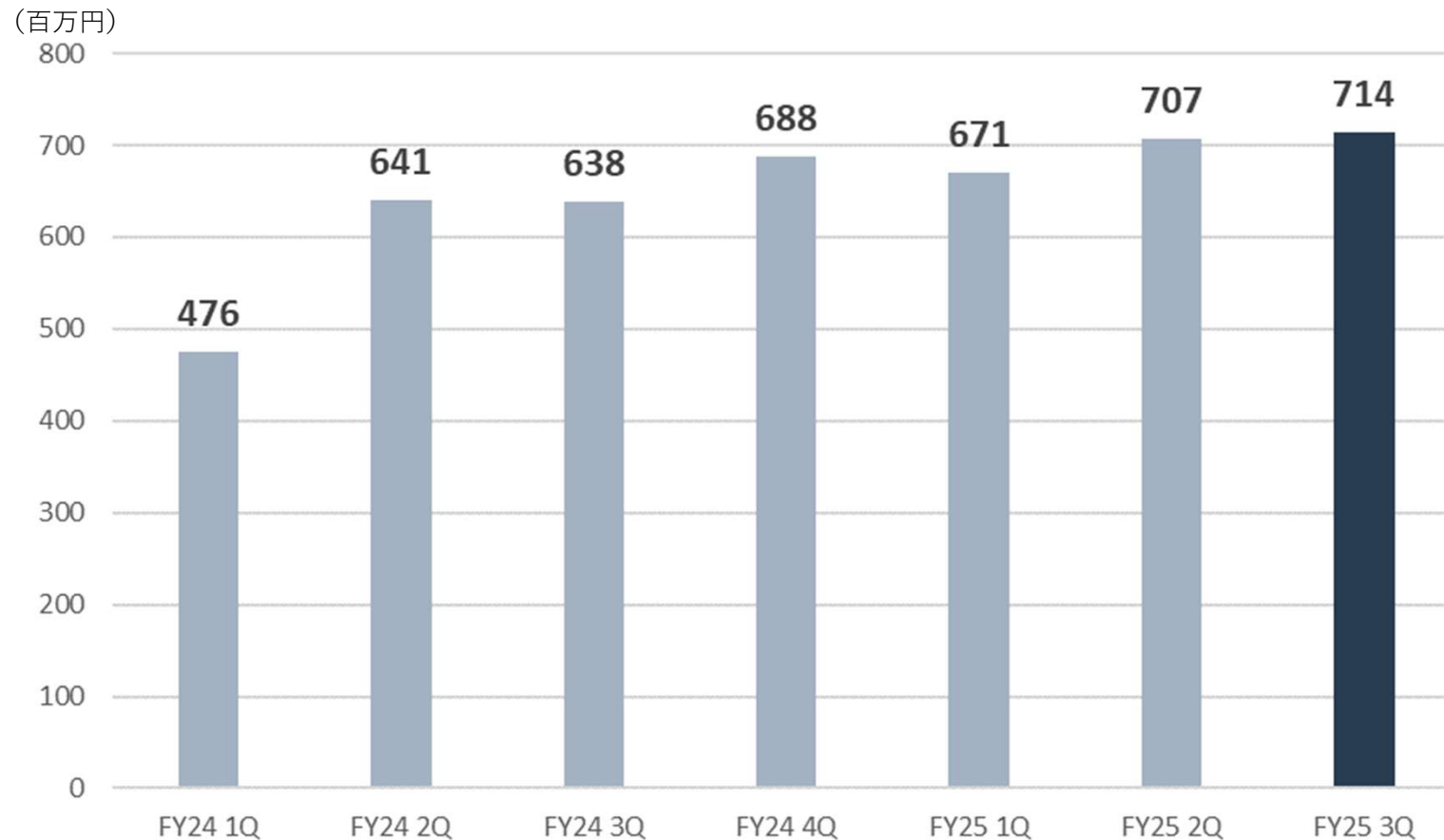
- ソフトウェア粗利益は対前年同期比で増加も、PER水準は変化なく、目標との差は継続

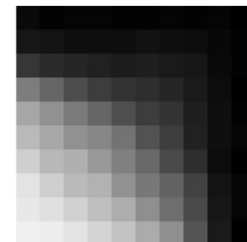


出所：Refinitiv

ソフトウェア粗利益の四半期推移

- ソフトウェア売上高の増加、外注費の減少により前年同四半期比では11.9%、前四半期比で1.0%増加





参考資料：会社概要

会社紹介 アバントグループについて

会社名 : 株式会社アバントグループ (持株会社)
創業 : 1997年5月26日
代表 : 代表取締役社長 グループCEO 森川 徹治
時価総額 : 531億円 (東証プライム、証券コード3836、2024年6月末時点)

主なソフトウェア



他社ソフトウェア



グループ会社



セグメント情報

【連結決算開示事業】

連結経営支援及び連結会計向け自社パッケージソフトであるDivaSystemの開発と保守を行う他、これを利用した連結決算・単体決算のアウトソーシングを提供することで、企業の情報開示を通じた価値創造を支援している。当社グループにおける位置づけとしては、ソフトウェアビジネスとアウトソーシングビジネスを融合させたビジネスモデルの確立を目指す。また、主に監査法人などに提供している株式会社インターネットディスクロージャーによる開示書類の情報検索サービスも連結決算開示事業に含まれる。

【経営管理ソリューション事業】

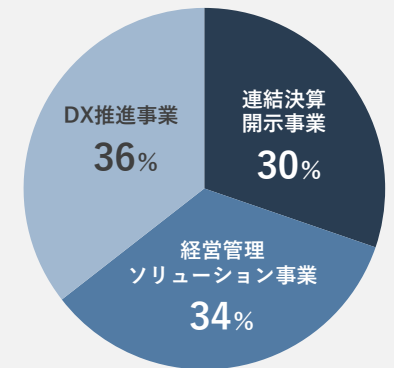
グループ経営、連結会計、事業管理を中心に、企業の「見えない価値」の可視化と最大化を目的とし、コンサルティングからシステムの企画、構築、導入、運用、保守までをワンストップで支援。自社でソフトウェアを開発するとともに、他社開発のソフトウェアとの組み合わせも行っている。当社グループ資産を最大限活用し、企業価値の向上に役立つ経営情報を提供するソリューションを継続的に生み出す役割を担う。また、株式会社VISTAによる株式市場における個社のポジショニングに応じた経営コンサルティングサービスも経営管理ソリューション事業に含まれる。

【DX推進事業】

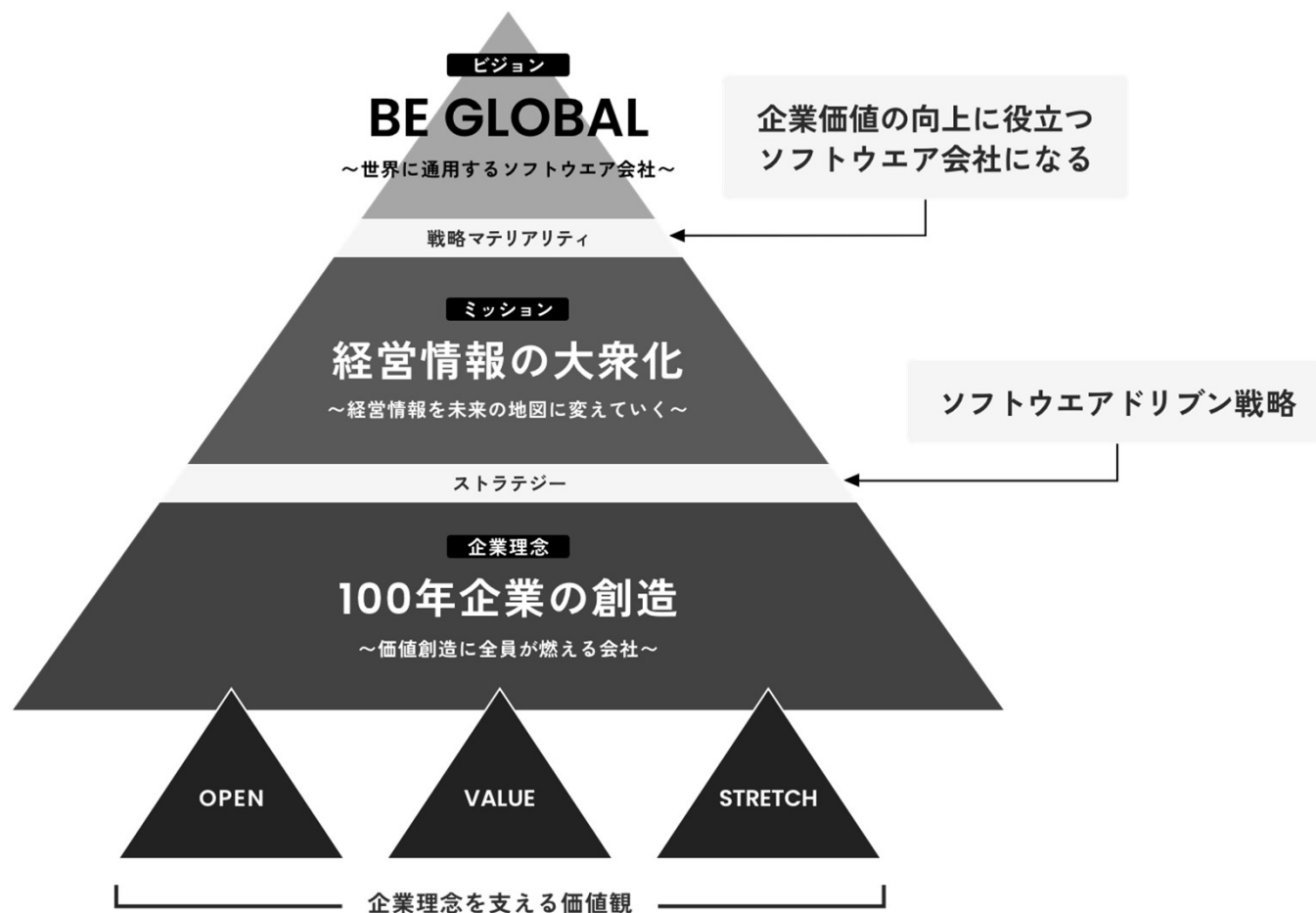
企業を取り巻くあらゆるデータを活用するためのデータプラットフォームからデータを分析・予測・可視化するAI・BIソリューション等を、コンサルティング・システム開発を通じて提供し、企業のデジタルトランスフォーメーションやデータドリブン経営の推進を支援している。主要クラウドベンダーからマルチクラウド対応ソフトウェア、生成AIに代表される最新の技術まで、データ活用に特化した最新の情報活用方法を習得し、技術者の育成とデータ活用基盤製品の自社開発を進め、当社グループの商材を拡充することも目的とする。

3つのセグメント (2024年6月期)

売上高 **244** 億円



アバントグループの理念体系



アバントグループはBE GLOBAL実現に向けた次の5年へ

連結会計事業「国内トップシェア」を確立

持株会社制／グループ経営の拡大

BE GLOBAL

政府主導
イニシアティブ

■連結会計制度
(2000年3月期～)

■四半期開示義務化
(2003年4月～)

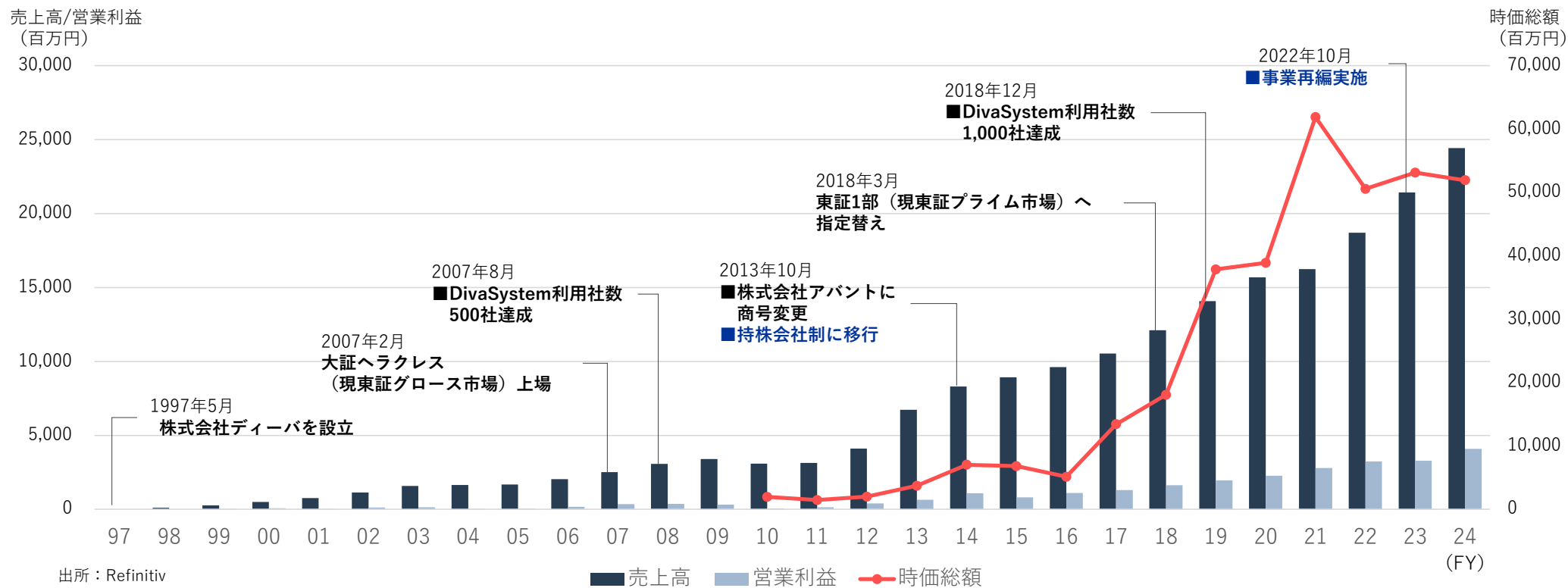
■内部統制報告制度 (J-SOX)導入
(2008年4月～)

■IFRS任意適用
(2010年3月期～)

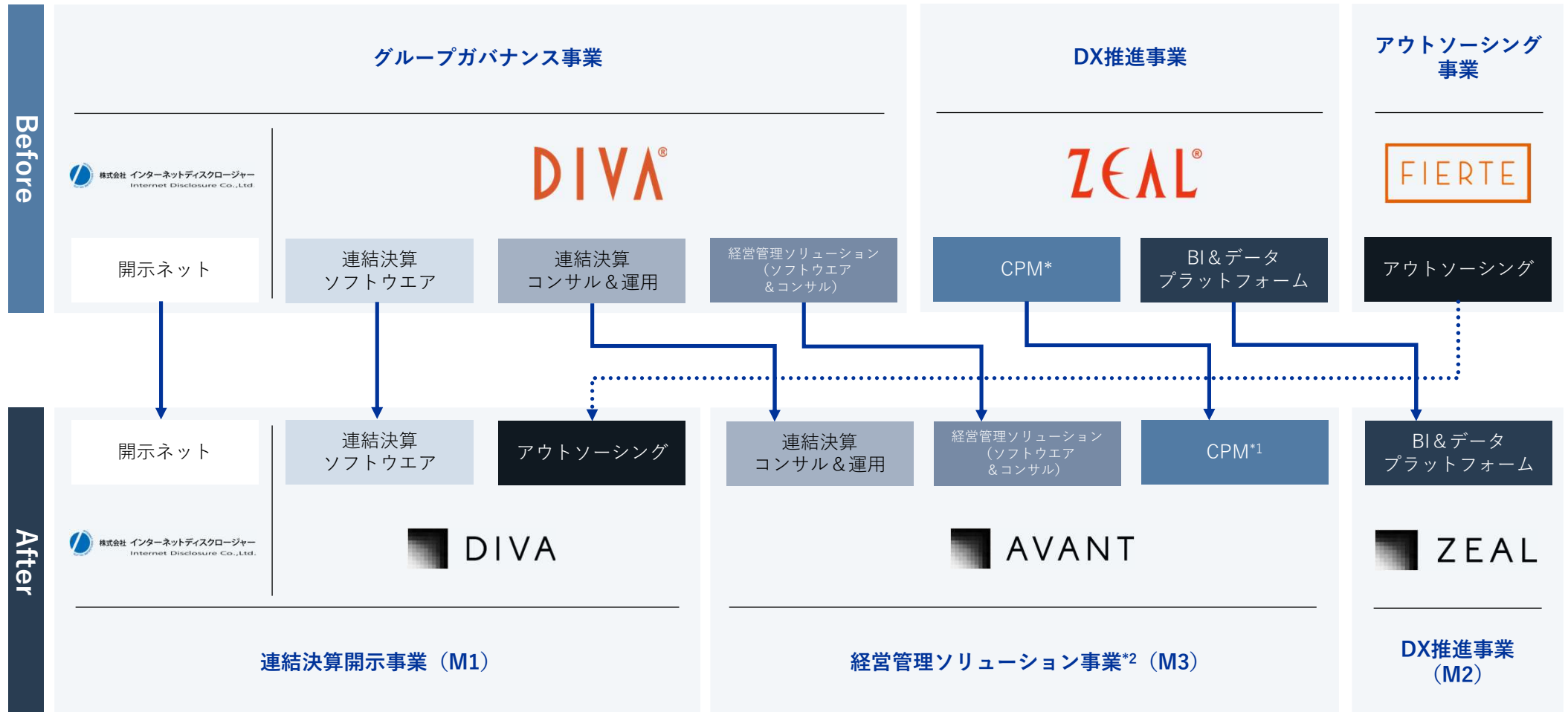
■コーポレート
ガバナンス・コード
(2015年6月～)

■グループ・ガバナンス
実務指針
(2019年9月～)

■東証より「資本コスト
や株価を意識した経営
の実現に向けた対応」
の要請 (2023年3月～)



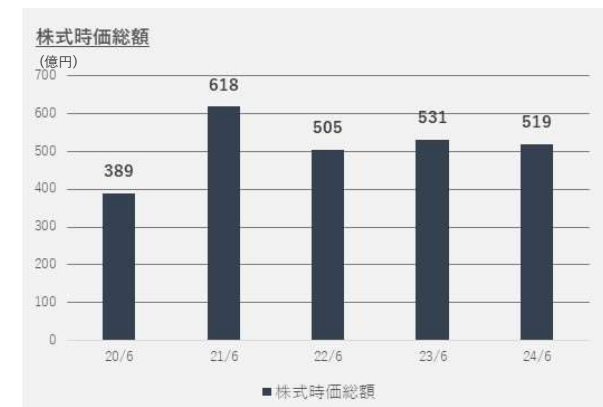
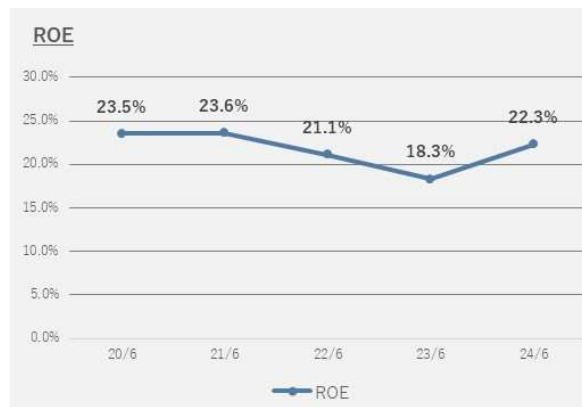
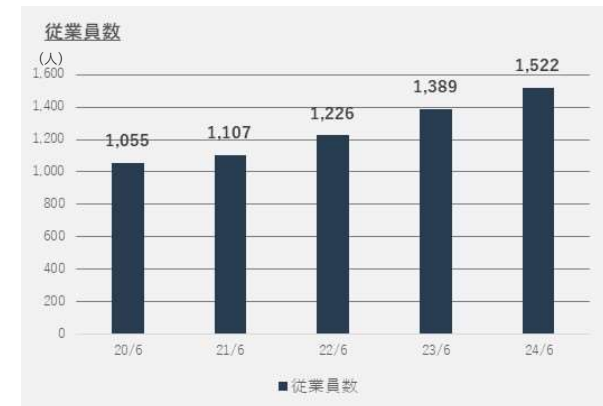
新セグメントへの組み替えについて



※1CPM : Corporate Performance Management

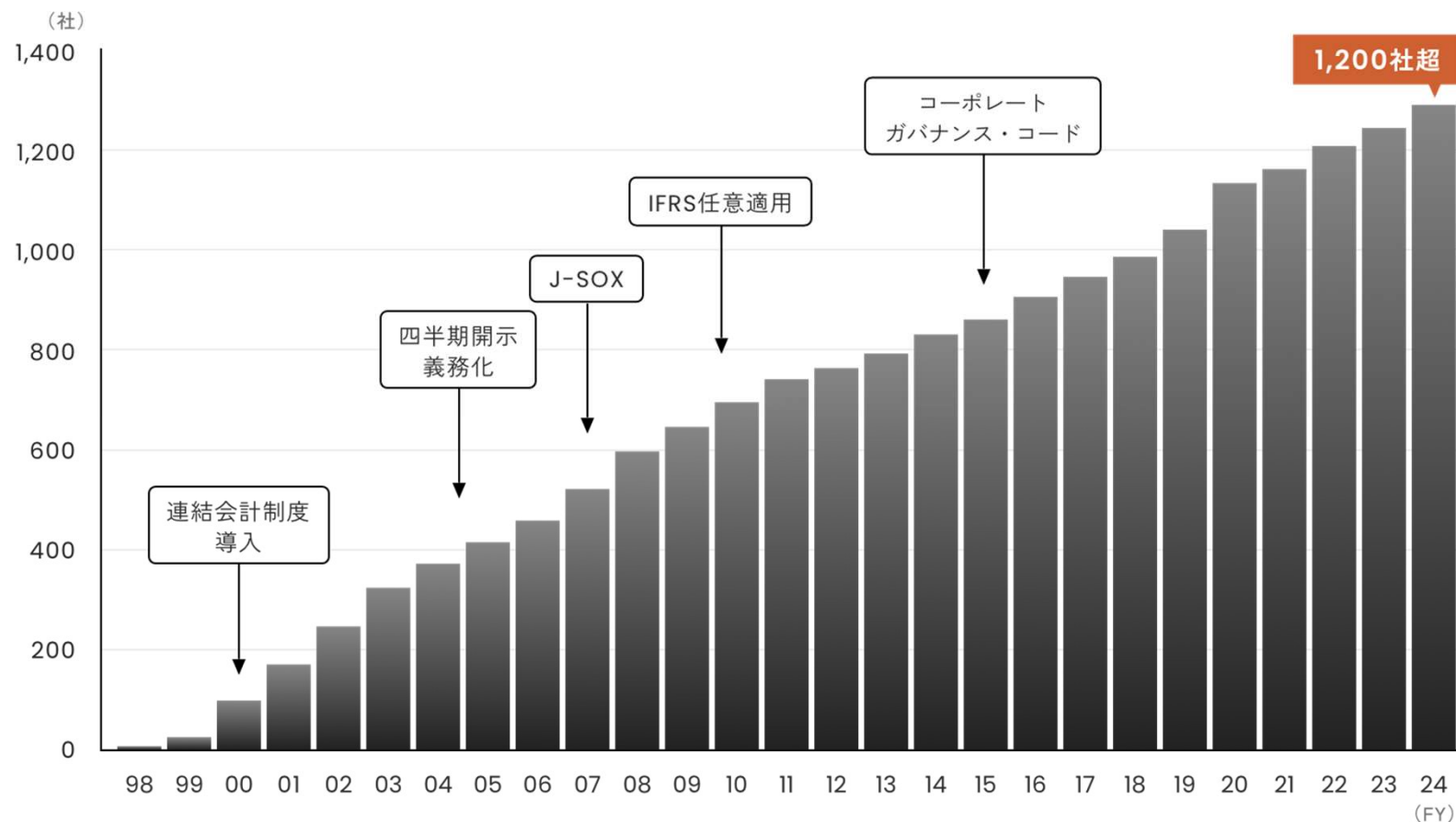
※2 2025年第2四半期から株式会社VISTAが経営管理ソリューションセグメントに追加されています

数値で見るアバントグループ



アバントグループ ソフトウェア製品導入企業の推移

■ ディスクロージャー規制強化に伴い、連結会計システムLCAが導入数をけん引



連結会計システムLCAの顧客基盤（時価総額別シェア）

- 販売実績は1,100社以上※1
- 2023年度連結会計ソフトウェア市場シェアは43.8%※2
- 制度会計から予算・管理会計等、企業のガバナンス強化をサポート



※1 2024年6月末時点

※2 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2023年版」連結会計管理ソフト 市場占有率推移<パッケージ>（2023年度実績）

将来見通しに関する注意事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断によるものです。

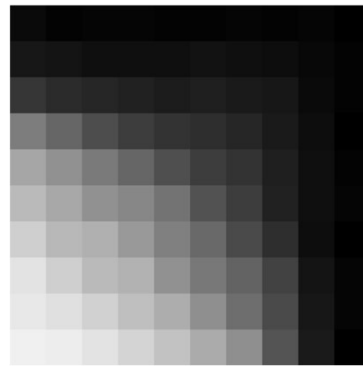
しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社アバントグループ IR室

ir@avantgroup.com



AVANT GROUP

SUSTAINABILITY IS VALUE